

令和 5 年 4 月 28 日

特定非営利活動法人日本消費者連盟  
共同代表 亀山 亜土 様  
共同代表 佐々木 ミヨ子 様  
共同代表 マーティン・フリッド 様  
遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン  
代表 天笠 啓祐 様

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社  
代表取締役社長 野村 真一郎

### ゲノム編集トウモロコシに関するご質問への回答

この度はお問い合わせをいただき、誠に有難うございます。弊社は、生産者と消費者の生活を豊かにし、確実に次の世代につなぐことを目的に事業を行っております。この目的を達成するための有用な技術の一つが **CRISPR** ゲノム編集であり、豊かで健康的な食糧を世界中で供給し続けることを可能にする品種改良の方法として、弊社は **CRISPR** ゲノム編集に大きな期待を寄せております。

**CRISPR** ゲノム編集は、植物が本来持っている自身の **DNA** のみを利用して優れた品種を作出することを可能にします。研究者たちは、**CRISPR** ゲノム編集を用いることで植物自身の **DNA** を正確に取り除いたり、正確に移動させたり、正確に編集したりすることにより、例えば乾燥や病気に強い、あるいは栄養価が高いなどの性質を持った植物を作出することが可能となります。このような優良な性質を持つ植物は自然環境下で自発的に生じることや従来品種改良によって得られることもありますが、**CRISPR** ゲノム編集を品種改良方法として用いることにより、これらと同様に優良で安全な植物をより効率的に作出することができます。

さて、令和 5 年 3 月 31 日付でご送付いただきました質問につきまして、以下に回答申し上げます。まず、先般届出されました **PH1V69 CRISPR-Cas9** ワキシートウモロコシは、研究及び商業化前試験のため米国で栽培されたことはありますが、現時点で商業的な流通・販売はされておられません。また、ワキシートウモロコシはもち性のトウモロコシであ

りますが、以前から自然環境下での自発的な変異や従来の品種改良方法によって作出されたワキシートウモロコシは流通しており、長期にわたり安全に利用されております。これらのワキシートウモロコシのもち性は、*Wx1* 遺伝子の欠損により得られる特性です。こちらと同様に、PH1V69 CRISPR-Cas9 ワキシートウモロコシも *Wx1* 遺伝子を欠損させることにより作出しております。

PH1V69 CRISPR-Cas9 ワキシートウモロコシの食品としての安全性に関わる情報につきましては、「ゲノム編集技術応用食品及び添加物の食品衛生上の取扱要領」（令和元年 9 月 19 日）に従って厚生労働省に提供し、専門家にご確認いただいております。オフターゲット変異の確認等の詳細は届出情報として厚生労働省のウェブサイト <sup>1)</sup>にて公開されておりますので、そちらをご覧ください幸いです。また、PH1V69 CRISPR-Cas9 ワキシートウモロコシの生物多様性影響に関する情報につきましては、「農林水産分野におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の生物多様性影響に関する情報提供等の具体的な手続について」（令和元年 10 月 9 日）に従って農林水産省に提供し、専門家にご確認いただいております。こちらにつきましても、オフターゲット変異の確認等の詳細は届出情報として農林水産省のウェブサイト <sup>2)</sup>にて公開されておりますので、そちらをご覧ください幸いです。

弊社は、Center for Food Integrity<sup>3)</sup> から、同団体の定める「農業における遺伝子編集の責任ある利用についての枠組み <sup>4)</sup>」に沿って事業活動がなされているとの確認を受けた最初の組織です。今後も消費者の皆様にご信頼していただけるよう、責任をもって CRISPR ゲノム編集の開発及び応用に取り組んで参ります。

以上

---

<sup>1)</sup> <https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/001075000.pdf>

<sup>2)</sup> [https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/tetuduki/attach/pdf/nbt\\_tetuzuki-13.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/tetuduki/attach/pdf/nbt_tetuzuki-13.pdf)

<sup>3)</sup> Center for Food Integrity は今日のフードシステムが消費者の信頼を得られるよう支援する非営利団体です。Center for Food Integrity の会員及びプロジェクトパートナーは、正確な情報を提供し、食料と農業に関わる重要問題に協力して取り組むことを約束します。また、Center for Food Integrity が個別の企業やブランドについてロビー活動や擁護を行うことはありません。詳細につきましては [www.foodintegrity.org](http://www.foodintegrity.org) をご覧ください。

<sup>4)</sup> <https://geneediting.foodintegrity.org/>